

# 経済日誌

10月

P = ポイント、MaaS = 「Mobility as a Service」の略で、交通サービスをワンストップで利用することができる、IC = インターチェンジ

国	内	県	内
1日	<b>東京証券取引所、初の終日売買停止</b> 東京証券取引所で市場に相場情報を伝達するシステム機器に障害が生じ、全株式の売買が終日できず。取引がシステム化された1999年以降で初の終日売買停止。	1日	<b>宮崎市、プレミアム商品券販売開始</b> 宮崎市は新型コロナウイルスの経済対策として、30%のプレミアム付き商品券(1万3,000円分を1セット1万円)を販売開始。市内の小売、飲食など約150店舗で使用可能。
1日	<b>9月日銀短観、全産業で景況感改善するも水準は低い</b> 日銀は9月の企業短期経済観測調査(短観)を発表。全産業の業況判断指数(DI)は、前回調査(6月)比3P上昇のマイナス28と景況感は改善したが、依然低い水準。	7日	<b>宮崎市、ソフトバンクと地方創生連携協定締結</b> 宮崎市とソフトバンク㈱は「地方創生の推進に向けた連携協定」を締結。様々な社会課題に対し、両者の知恵やノウハウを共有し、地方創生に向けて取り組む。
1日	<b>「Go To イートキャンペーン」開始</b> 新型コロナウイルス感染拡大で客足が落ち込んだ外食需要の喚起策「Go To イートキャンペーン」がスタート。プレミアム付き食事券とオンライン予約によるポイント付与方式がある。	9日	<b>宮崎銀行、地方創生で明治安田生命保険と連携</b> 宮崎銀行は地方創生推進のため明治安田生命保険と連携協定を締結。明治安田生命の営業所を通じ、宮崎の食や観光の発信、融資先企業のビジネス機会創出を支援。
1日	<b>「Go To トラベル」東京発着旅行解禁</b> 政府の観光支援事業「Go To トラベル」に東京発着旅行が追加され、対象が全国に拡大。同時に旅行代金の15%相当を付与する地域共通クーポン利用も始まった。	14日	<b>宮崎駅高架下「ひむかきらめき市場」オープン</b> 宮崎駅高架下の「ひむかきらめき市場」が「アミュプラザみやざき(11月20日開業予定)」の一部として先行オープン。南九州初出店の飲食店を含め全34店舗が開業。
7日	<b>国の2021年度一般会計予算概算要求105兆円</b> 財務省は2021年度一般会計予算の概算要求総額を発表。21年度は、20年度の要求104兆9,998億円を上回る105兆4,071億円と、3年連続で過去最大を更新。	15日	<b>国民スポーツ大会、2027年本県開催</b> 日本スポーツ協会は、2026年に本県で開催予定であった国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会を1年延期し、2027年の開催を決定。今年の鹿児島国体延期が影響した。
7日	<b>8月景気動向一致指数、前月比1.1P上昇</b> 内閣府は8月の景気動向指数(CI、2015年=100)を発表。一致指数は前月比1.1P上昇し79.4と3カ月連続上昇。現在の景気は「下げ止まり」との基調判断。	16日	<b>宮崎駅西口広場完成</b> 県がJR九州及び宮崎交通と共同で整備していた宮崎駅西口駅前広場が完成。高速バスターミナルやタクシー乗り場を一新し、屋根付きイベント広場も設置。
8日	<b>9月景気ウォッチャー調査、景気の現状判断は上昇</b> 9月の景気ウォッチャー調査(内閣府)では、景気の現状判断DI(季節調整値)は前月比5.4P上昇の49.3。基調判断は「厳しさは残るものの、持ち直している」へ上方修正。	16日	<b>MaaS実証実験、11月6日から開始</b> 宮崎県におけるMaaS実証実験実行委員会は、11月6日より宮崎市・日南市及びその近郊でMaaSの実証実験を行う。トヨタ自動車などが開発・提供するアプリ「my route」を使用。
9日	<b>日銀、デジタル通貨2021年度実証実験</b> 日銀は世界の中央銀行でデジタル通貨発行機運の高まりを受け、2021年度に実証実験を実施すると発表。実験は3段階を想定しており、来年度の早い時期に開始予定。	22日	<b>新富町、宮崎トヨタグループと連携協定締結</b> 新富町は宮崎トヨタグループ6社と連携協定を締結し、企業版ふるさと納税制度を活用した乗合タクシーを11月に導入する。町内全域で、だれでも利用可能。
16日	<b>「Go To 商店街」1次先行募集34事業を採択</b> 経済産業省は「Go To 商店街」事業の先行募集(1次締切)で34事業を採択。3密対策等の感染防止対策を徹底しながら、商店街等のイベント実施を支援。	23日	<b>東九州自動車道、新富スマートICが新規事業化</b> 国土交通省は東九州自動車道「新富スマートIC(新富町)」の新規事業化を許可。住民生活の利便性、地域産業の活性化、防災機能向上などが期待される。
23日	<b>10月月例経済報告、「持ち直しの動きがみられる」を維持</b> 内閣府の10月の月例経済報告では、経済の基調判断は「持ち直しの動きがみられる」を維持。個人消費については「持ち直している」との判断。	25日	<b>川南町軽トラ市、8カ月ぶりの再開</b> 川南町商工会の定期朝市「トロントロン軽トラ市」は新型コロナウイルス感染拡大を受け、3月以降中止していたが、感染防止対策を講じ8カ月ぶりに再開。